

自治体ヒアリング結果

- ・ 目的：下水サーベイランスを実施した自治体の経験からガイドラインに対する意見をヒアリングし、現状のガイドラインの課題を把握する
- ・ ヒアリング対象：下水サーベイランスの経験を有する自治体
(国交省モデル自治体6都市+3自治体)

ガイドライン目次

第1章 総論

1.1 本ガイドラインの背景と目的

1.2 下水疫学調査の意義と目的

1.3 本ガイドラインの位置づけ

第2章 下水モニタリング

2.1 対象施設の設定

2.2 マンホール調査や、下水処理場での採水頻度を高める際の事前準備

2.3 サンプルング方法

2.4 サンプルング頻度

2.5 サンプルの保管・輸送

2.6 下水分析データ

第3章 下水の分析方法

3.1 下水の分析方法

3.2 分析結果の扱い

第4章 下水分析データの活用方法

ヒアリング対象項目



項目	意見
1.2 下水サーベイランス の意義と目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染動向の早期探知や排水区を限定した調査は実際には難しい ・ 活用イメージとしての記載は問題無い
1.3 本ガイドラインの位 置づけ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施フローが実際に保健衛生部局とのやり取りで役に立った ・ ガイドラインの位置づけとして、下水道部局に偏った内容であり、保健衛生部局の意見も取り入れるべき
2章 下水モニタリング	<ul style="list-style-type: none"> ・ 採水方法の選択や採水頻度、時間帯について目安や判断の基準等を盛り込んでほしい ・ 現在の記述でも問題無く調査を実施できる
3章 下水の分析方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分析方法を選択する際の情報追加や、解析に用いるデータ（N1,N2,PMMoV等）の解説を追加してほしい ・ 標準的な結果入力フォーマットが欲しい

項目	意見
4章 下水分析データの活用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・保健衛生部局側がデータ解析を行う場合、できればそのデータの扱い等のマニュアルやフォーマットがあると良い ・採水から輸送までは非常に細かいが、解析については、保健衛生部局に任せる形になっているように見える。解析や活用方法まで全般的に網羅したガイドラインになると良いと思う
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・内容的には充分である ・下水サーベイランスの活用面での記述が少なく、厚生労働省側との連携が必要